


<p>項目</p>	<p>感染性胃腸炎患者等の発生について</p>
<p>配付資料</p>	<p>感染性胃腸炎患者等の発生について</p>
<p>内容及び報道に当たってのお願い</p>	<p>令和元年（2019年）5月27日（月）、北見保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。                  詳細は別添のとおりです。                  なお、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、本日15時30分に資料配付しております。</p> <p>※報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため、特段の御配慮をお願いします。</p> <p>（参考）  <b>感染を防ぐために（三原則）</b></p> <p>1 手洗い</p> <p>① 爪を短く切って、指輪や時計をはずします。                  ② 石けんを十分に泡立て、ブラシなどを使用して手指や手首を洗浄します。                  ③ 流水で十分すすぎます。                  ④ 使い捨てタオルで手をふきます。（布タオルを再利用したり他の人と共用するのは避けましょう。）</p> <p>2 消毒・加熱処理                  消毒用エタノールや逆性石けんではロタウイルスの感染力を失わせることはできませんが、次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤を希釈したもの）や加熱（85℃、1分以上）は効果があります。（調理器具、食品など）</p> <p>3 糞便や吐物の処理、汚染されたおそれがある場所の消毒                  感染を広げないためには、糞便や吐物、その拭き取りに使用した物の適正な処理が非常に重要です。</p> <p>① 使い捨てのマスクと手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、糞便や吐物をペーパータオルで静かに拭き取ります。                  ② 糞便や吐物が付着した床等は、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭き取ります。じゅうたん等にはアイロンをかけます。                  ③ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、次亜塩素酸ナトリウムを希釈したものに5分～10分浸した後、廃棄処分します。</p>
<p>担当</p>	<p>北海道北見保健所（北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室）                  健康推進課長 水口 真弓                  電話 0157-24-4173                  FAX 0157-24-4199</p> 

# 感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)5月29日(水) 15:30

北海道北見保健所  
(北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見  
地域保健室)  
TEL 0157-24-4173  
FAX 0157-24-4199

令和元年(2019年)5月28日(火)、北見保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

## 記

### 1 探知

令和元年(2019年)5月27日(月)に、北見保健所管内の保育所から、複数の園児が下痢、おう吐、吐気等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

### 2 発生の概要

北見保健所管内の保育所の園児15名が、5月21日(火)から5月27日(月)にかけて、下痢、おう吐、吐気等の症状を呈し、うち13名が医療機関を受診し、検査及び治療を受けた(うち1名が入院した)。

### 3 現在の症状

5月29日(水)現在、入院中の1名を含め、症状は回復もしくは快方に向かっている。

### 4 経過

5月21日(火)～27日(月)	下痢、おう吐、吐気等の有症者発生
5月27日(月)	保育所から保健所に通報
5月26日(日)～27日(月)	医療機関において有症者のうち4名の便を検査した結果、4名全員からロタウイルスが検出された。

### 5 感染経路

現在調査中

### 6 対応

北見保健所では、当該保育所に対し、園児の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

### 7 その他

この件については、本日15時30分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、資料配付を行っています。

<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。>

## ロタウイルスとは

ロタウイルスは乳幼児下痢症の原因ウイルスとして広く一般に知られています。

ロタウイルスの人への感染は、人と人との間で起こる糞口感染です。汚染された水や食物などを触った手からウイルスが口に入って感染が成立する可能性もあります。感染のピークは春先に認められますが、一年を通して発生がみられます。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)、腹部不快感

潜 伏 期 間：通常48時間

経 過・予 後：通常1～2週間以内で回復、予後は良好